平成25年度　胎内市体育・保健体育部　活動報告

部長　近藤　正毅

1　研究主題

9年間を見通した児童生徒の基礎運動技能の向上

2　活動内容の概要

（1）第1回部会「活動計画の立案」会場きのと小学校 5月14日(火)15:30～ 参加者10人

（2）第2回部会「公開授業・協議」参加者9人

①　日時・会場　11月12日（火）13時45分～16時35分　（築地中学校）

②　授業者　　渡邊　剛　　時田めぐみ（築地中学校　教諭）

③　単元名　　２年生「マット運動」

④　ねらい

技ができる楽しさや喜びを味わい、規定技と自己に適した技で構成（４つの連続技）演技ができるようにする。

⑤　概　略

ア　マット運動での発表演技（４種目の連続技）の練習を行った。生徒が、お互いに教え合ったり補助を行ったりしながら、自主的に連続技の練習を行っていた。最後に本時の学習の振り返りを、学習カードにしっかりと記入していた。また、態度面に関しても、協力して準備や片付けをしていた。

イ　協議会では、本時の指導内容について意見交換が行われた。授業者は、技と技のつなぎ方等、どれだけ連続技を工夫してできるかをねらった。参加者より、「友だちの動きを見て教え合っていた。」「足をクロスさせて後転に入る等、工夫した動きがあった。」「授業の中に、もう１度技を確認する場面があってもよかったのではないか。」等の意見が出た。

ウ　顧問の長谷川教頭（中条中）からは、本時の授業についてのご指導をいただいた。今日の授業は、規律がしっかりしていて、めりはりのある授業であった。導入時に黒板で今日のめあてや活動内容を提示する等、教師の指示が明確であり、生徒が動きやすいよう工夫していた。日頃から行われている授業の積み重ねが、本時に表れていた。日頃の授業を大切にすることが大事である。

（3）第３回部会「中学校教師による小学校への出前授業及び参観」　参加者８人

①　日時・会場　11月27日（水）13時55分～14時40分　（きのと小学校）

②　授業者　　金川　晃（乙中学校　教諭）

③　単元名　　「ボール運動」

④　概　略

ア　ボールを使っていろいろな動きを行った。学習形態も一人ずつから二人組になり行った。ボールを使うバリエーションが沢山あり参考になった。

イ　授業者の指示に無駄がなく、児童の並び方や動きがスムーズにできた。

ウ　よくできた児童をみんなで拍手したり、ペアになってやり方をアドバイスしたり、友だちとかかわりながら楽しく活動できた。

3　成果と課題

（1）成果

①　小学校、中学校の授業について、意見交換することで学習面、規律面等、共有する部分が増えた。

②　小学生が中学入学に期待と不安をもつ時期に、中学校の教諭が行う出前授業は、小学校の子どもたちにとって安心につながり大変有意義な時間であった。

（2）課題

①　活動内容をよりよくする為に、指導案検討会を入れる等、授業改善に向けた意見交換が必要である。

②　学習規律について、小中学校で統一したものがあるとよい。中学校区で話し合うなどして取り入れていく。

（マット運動の様子）

（ボール運動の様子）